

系	統	けい酸塩系表面含浸材
特	長	1) 塗布するだけで作業が完了。 2) 表面を緻密化し、コンクリートの劣化を防止。 3) 耐摩耗性が向上。
用	途	1) コンクリートの劣化防止材
配	合 比	質量比 A液：B液＝100：46（体積比 A液：B液＝100：35）
荷	姿	10kgセット（A液：6.8kg, B液：3.2kg）
外	観 性 状	A 液（赤キャップ）：無色ないし、わずかに白濁した液体 B 液（青キャップ）：無色ないし、わずかに着色した液体 混合溶液：無色ないし、わずかに白濁した液体
可	使時間の目安	24時間
比	重	1.08±0.05（混合溶液での液比重）
標	準 塗 布 量	0.25 kg/m <sup>2</sup>
貯	蔵保証期間	6か月（未使用、冷暗所保存）
消	防 法 による 危 険 物 区 分	非危険物
毒	物 及 び 劇 物 取 締 法	A 液 該当しない B 液 該当しない
使	用 方 法	1) 含浸面に付着している泥・ほこり等をワイヤーブラシや不織布研磨材・高圧水洗浄等で除去する。 2) 噴霧器、ローラーで塗布する。
使	用 上 の 注 意	1) A液およびB液の混合溶液は当日中に使用する。 2) 塗布作業はムラのないように行う。 3) 直射日光を避け、また、凍結しないように保管する。

シンナー等の有機溶剤、酸性液体等の接触により珪酸塩が析出します。  
ご使用の際には、接触しないようにしてください。

施工したコンクリート面が、コンクリート表面のカルシウム、マグネシウムとの反応物により白化する場合があります。凍結防止剤を散布したところ、海の近くで本製品を使用する場合は、試し塗りなどを行い白化の状況を確認のうえ施工してください。

含浸作業を複数回に分けて行う場合は、完全に乾く前の湿潤状態で、次の含浸作業を行うようにしてください。（長い間隔をあけての含浸作業は、コンクリート内部までの含浸を妨げ白化の原因になります。）

### ⚠ 注 意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 強アルカリ性のため、皮膚・粘膜に付着すると“炎症”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 無色・無臭のため誤飲に注意してください。
- 詳細については安全データシート（SDS）を参照してください。